

サツマイモの植え付け時期は、ノアサガオ上で越冬した本種が活動を始める時期であり、越冬直後の個体が大量に畑に侵入し大量発生する可能性は低いと考える。しかし、サツマイモ畑の近傍にノアサガオ群落が存在する場合は注意が必要である。また、本種には登録農薬があり、殺虫剤散布が有効であるため(愛媛県, 2015), 重篤な害虫になる可能性は低いと考えられる。

また、栽培品種であるアサガオについては嗜好性が低いと考えられ、被害も少ないと考えられる。

## 5. 謝辞

本研究を行うにあたり、ご指導、助言をいただいた小西和彦教授ならびに昆虫学研究室の皆様にご心からお礼申し上げます。また、本種について様々な情報を頂いた窪田聖一氏、末長晴輝氏、岩田朋文氏、宇都宮靖博氏、今坂正一氏、小林修司氏にお礼申し上げます。

## 引用文献

- 今坂正一・海老原円, 1997. 奄美大島で採集した昆虫類. KORASANA, (64): 1-41.  
 今坂正一・祝 輝男, 2007. 喜界島で2007年に採集した甲虫. SATSUMA, 57(137): 119-129.

- 愛媛県, 2015. 平成27年度病害虫発生予察特殊報(第1号). <http://www.pref.ehime.jp/h35118/2406/byocyubojo/documents/h27tokusuyuhouyotomonmanenokohamusii.pdf> (2016年2月20日アクセス)  
 木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 539 pp. 東海大学出版会.  
 久保田義則, 2008. 屋久島におけるヨツモンカメノコハムシの採集と生息状況調査. SATSUMA, (140): 243-246.  
 こうち農業ネット, 2012. 家庭菜園(サツマイモ). <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dtl.php?ID=561> (2016年2月25日アクセス)  
 中山紘一, 2015. ヨツモンカメノコハムシ. げんせい, (91): 1.  
 佐野信雄, 2014. 四国南西部におけるヨツモンカメノコハムシについて. へりぐろ, (35): 59-63.  
 酒井孝明・倉田章久・石川 均, 2008. 本州に侵入したヨツモンカメノコハムシ. 月刊むし, (451): 15-16.  
 瀬島翔馬, 2011. 397(Col.: Chrysomelidae) 福岡市におけるヨツモンカメノコハムシの記録. PULEX 日本昆虫学会九州支部会報, (90): 576-577.  
 竹内浩二・嶋田竜太郎・沼田洋子・沼沢健一・嶋田 綾, 2012. [大島特産園芸作物における生産進行技術対策] ヨツモンカメノコハムシの発生と被害状況および防除対策. 東京都農林総合研究センター平成24年度成果情報一覧. [http://www.tokyo-aff.or.jp/center/kenkyuseika/08/pdf/h24/26\\_1.pdf](http://www.tokyo-aff.or.jp/center/kenkyuseika/08/pdf/h24/26_1.pdf) (2013年11月28日アクセス)  
 山元宣征, 2000. ヨツモンカメノコハムシの長崎県からの記録. 月刊むし, (356): 45-46.  
 山元宣征・和田義人, 2001. 長崎市周辺に定着した侵入昆虫ヨツモンカメノコハムシ. 月刊むし, (368): 11-14.  
 吉富博之, 2013. 三宅島で確認した南方系移入甲虫2種. さやばねニューシリーズ, (13): 61.

(2016年2月15日受領, 2016年3月1日受理)

## 【短報】タケトゲハムシの愛媛県における記録

タケトゲハムシ *Dactylispa issikii* Chûjô は、従来は九州に分布するとされていたが、近年では中国地方や近畿地方、四国でも採集されており、インターネット上でもそれらの地域からの情報が散見される。新開(2016: 50-51)にも「近年、近畿や四国にも分布を広げている」とある。

本種の四国(含・愛媛県)における正式な記録は、

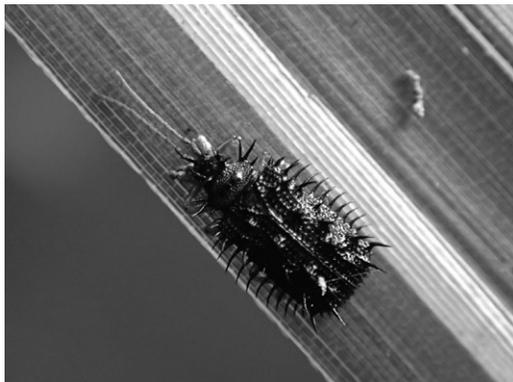


図1. 愛媛県産タケトゲハムシ。

おそらく岡野(2015)だと思われるが、それ以外にも愛媛県内で採集された標本が愛媛大学ミュージアムに所蔵されているので記録しておく。本種の四国における分布が九州からの侵入だとすると、2005年には既に侵入していたことが判る。

2頭, 松山市樽味石手川, 30. VI. 2015, 奥・三好採集; 1頭, 西予市宇和町四反田池, 16. IX. 2005, 栗原隆採集; 1頭(図1), 宇和島市三間町大内, 9. X. 2015, 吉富博之の採集。

## 引用文献

- 岡野良祐, 2015. 松山市野外活動センターのコウチュウ目, pp. 25-40. 岩田朋文(編): 松山市野外活動センター昆虫類目録. 78 pp. 愛蝶会, 愛媛県.  
 新開 孝, 2016. 虫のしわざ観察ガイド 野山で見つかる食痕・産卵痕・巣. 144 pp., 文一総合出版.

(愛媛大学ミュージアム 吉富博之)

## 【短報】東京都からのナラツブエンマムシの採集記録

ナラツブエンマムシ *Anapleus nakanei* Ôhara, 1994 は、奈良県吉野山をタイプ産地とする、エンマムシ科の微小甲虫である。日本特産種で、本州（福島県以西）、四国、九州から生息情報がある（Ôhara, 1994; 大原・山本, 2000）。

本種を含むツブエンマムシ属は、土壌中や倒木上で得られるほか、ピットフォール・トラップ、フライトインターセプション・トラップ、トラック・トラップなどでも採集されているが（大原, 1997; 今坂, 2012; 矢野・久松, 2008）, 概して確認例は少なく、これまで珍しいエンマムシと考えられてきた。

しかし、本種ナラツブエンマムシは、吉田正隆氏が考案した地中トラップ（以下、吉田式地中トラップ）で捕獲される甲虫としては代表的な種のようなのである（吉田, 2012）。徳島県各地での記録（吉田ら, 2009, 2010, 2012, 2013, 2015）は、このトラップで得られたものであり、時には多数が採集されるという（吉田氏, 私信）。

筆者は、この地中トラップ一式を吉田氏から譲り受け、奥多摩町で設置・回収を行った結果、本種が複数得られたので報告する。

6♂3♀, 東京都西多摩郡奥多摩町倉沢（標高700 m）, 27. V（設置）～5. VIII（回収）. 2015, 筆者採集, 保管。

東京都初記録。すべて沢付近のガレ場に仕掛けた吉田式地中トラップによって採集された。半径15mほどの範囲内に5個のトラップを埋設し、本種はこのうち2個のトラップで捕獲された。トラップを埋設した深さは地中30～50 cmほどで、表層の落葉落枝層より下層の、地下浅層の直上部かそれよりやや高い位置であった。トラップのまわりは大小の石をまじえた粘土質の土壌だった。誘引餌として市販のさなぎ粉を、保存液としてプロピレングリコールを使用した。なお、トラップは8月5日以降もかけ続けて12月2日にも回収を行ったが、この間に本種は捕獲されなかった。

末筆ながら、調査に協力いただき、種々ご教示をくださった徳島昆虫研究会の吉田正隆氏、走査型電子顕微鏡による観察に協力いただいた国立科

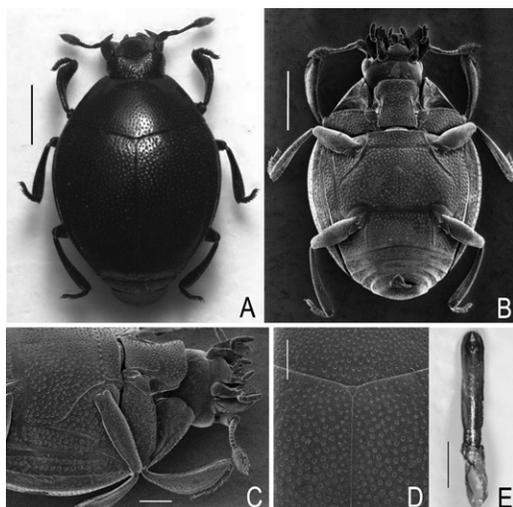


図2. 奥多摩町産ナラツブエンマムシ♂。A, 背面; B, 腹面 (A, Bのスケールは0.5 mm); C, 後胸腹板側部の点刻; D, 上翅会合部, 小楯板付近の点刻; E, 陰茎背面 (C, D, Eのスケールは0.2 mm)。B, C, Dは走査型電子顕微鏡写真。

学博物館動物研究部の野村周平博士に心よりお礼を申し上げる。

## 引用文献

- 今坂正一, 2012. 2011年に九酔溪のFITで採集した甲虫類について. 二豊のむし, (50): 53-67.
- Ôhara, M., 1994. A revision of the superfamily Histeroidea of Japan (Coleoptera). Insecta matsumurana, new series, 51: 1-283.
- 大原昌宏, 1997. 日本産エンマムシ上科概説 VI. 甲虫ニュース, (119): 1-6.
- 大原昌宏・山本栄治, 2000. 小田深山およびその周辺のエンマムシ科. 小田深山の自然, 2: 235-240.
- 吉田正隆・黒田祐次・田中光治・櫻木大介, 2009. 美馬市美馬町の甲虫. 阿波学会紀要, (55): 59-66.
- 吉田正隆・黒田祐次・田中光治・櫻木大介, 2010. 阿波市阿波町及び吉野町の甲虫. 阿波学会紀要, (56): 61-70.
- 吉田正隆, 2012. 地中トラップによる地下浅層性昆虫の採集法. 昆虫と自然, 47(5): 6-12.
- 吉田正隆・黒田祐次・田中光治・櫻木大介, 2012. 吉野川市山川町の甲虫. 阿波学会紀要, (58): 49-63.
- 吉田正隆・西川 勝・田中光治・櫻木大介, 2013. 東みよし町「日三加茂町」の甲虫. 阿波学会紀要, (59): 47-56.
- 吉田正隆・西川 勝・櫻木大介, 2015. 阿南市の甲虫. 阿波学会紀要, (60): 57-66.
- 矢野真志・久松定智, 2008. トラックトラップによって愛媛県石鎚スカイライン周辺から得られたケシキスイ科と興味深い甲虫類. 四国虫報, (41): 1-4.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町 32-17)



図1. 吉田式地中トラップの設置状況。A, 周辺環境（ガレ場の法面を下から見上げる）; B, トラップの埋設。